

[平成26年5月作成]

間接後代検定で脂肪交雑(BMS) 8.1は歴代最高値!

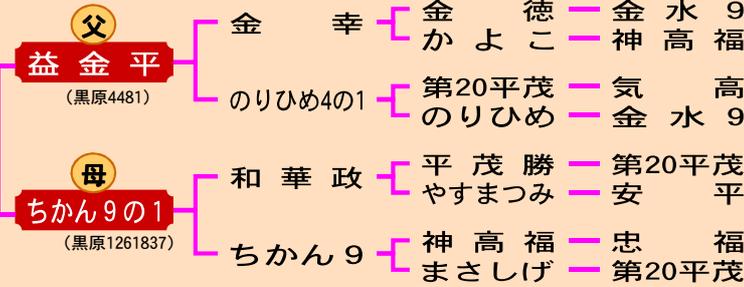
- 母は「なかはら」系統, 「気高系」や「但馬系」母牛への交配が最適
- 間接後代検定で, ロース芯の形状, 肉テリ, サシの形状, モモへのサシ抜け, バラサシ良好

益 華 福

ます
はな
ふく



登録番号 黒原5353 (85.6)
 生年月日 H21.6.12
 産地 鹿屋市
 生産者 福山 牛夫 氏
 体高 154.0 cm
 近交係数 10.60 %
 美点 発育 体積 体伸
 均称 中軀 前軀
 皮膚 乳徴
 系統の特徴 「なかはら」系統



【交配対象】

**安福久, 安糸福, 勝忠平
 百合茂, 華春福, 隆之國**
 などが父の雌牛

始祖牛	金水9	宝春	第20平茂	宝勝	忠福	神高福
遺伝子保有確率(%)	31.2	4.5	48.7	12.1	23.9	34.7



間接後代検定成績概要

枝肉重量平均 : 482.7kg
 ロース芯面積平均 : 60cm²
 バラ厚平均 : 8.4cm
 皮下脂肪厚平均 : 2.8cm
 BMSナンバー平均 : 8.1(6~11)

母の父/安糸福 BMS/No.9
 母の祖父/平茂勝 ロース芯/55cm²

母の父/勝忠平 BMS/No.11
 母の祖父/朝開土井 ロース芯/60cm²



● 「なかはら系統」の育種牛である「ちかん9の1 (G1261837)」に「益金平」を交配した「栄光系」の種雄牛

● 特に発育・体積・体伸・均称・中軀・前軀・皮膚・乳徴が優れ、種牛性も兼ね揃えています。(体上線や腿さがり良し)